

いなかった。「年齢」以外の要因についても同様にして調べると、「性別」は 4 症状、「知的障害の程度」は 8 症状、「仕事強度」は 5 症状、「仕事の知的要件」は 4 症状、「作業形態」は 7 症状、「作業環境の厳しさ」は 5 症状の原因として考えられた。

「年齢」「性別」「障害程度」の本人側の特性のみが主原因と考えられる訴えは、「頭が重い」「いつもイライラしている」「作業中に息切れする」「胃腸の調子が悪い」の 4 症状だけであった。一方、本人側の特性は関係なく、職務要件などの環境面が主な原因と考えられる訴えは、「目が疲れる」「だるさが続く」「作業の速度についていけない」の 3 症状だけで、その他の 11 症状には、本人側の特性と環境面の両者の要因が関与していた。このように、一口に疲労とは言っても症状によってその原因は多様なものであり、年齢や障害程度といった本人側の特性だけでなく、仕事の内容や作業環境などいくつかの環境面の原因が相互に作用して発現してくるケースが多いことが示された。

なお、決定係数が 0.4 に満たなかった「足腰が疲れる」「肩がこる」の 2 症状については、今回取り上げた要因だけではモデルの概念構成が不十分であり、身体機能など他の原因について再検討する必要がある。

表 9 疲労の自覚症状とその原因(ロジスティック回帰分析の結果)

回帰係数	標準誤差	Wald 量	有意水準	R	オッズ比	回帰係数	標準誤差	Wald 量	有意水準	R	オッズ比						
<b>筋肉が疲れる</b> (R <sup>2</sup> = 0.410)						<b>目が疲れる</b> (R <sup>2</sup> = 0.471)											
作業環境	.4244	.1072	15.6677	.0001	.1095	1.5287	仕事強度	-.3824	.0738	26.8363	.0000	-.1476	.6822				
年齢	-.0257	.0072	12.7746	.0004	-.0972	.9746	作業形態	-.2632	.0924	8.1039	.0044	-.0732	.7686				
障害程度	-.2558	.0987	6.7220	.0095	-.0644	.7743	<b>作業中によく休む</b> (R <sup>2</sup> = 0.888)										
作業形態	-.2340	.1039	5.0732	.0243	-.0519	.7914	障害程度	-.7431	.2267	10.7498	.0010	-.0876	.4756				
<b>頭が重い</b> (R <sup>2</sup> = 0.785)						性別						-.10740	.3404	9.9548	.0016	-.0836	.3416
年齢	-.0401	.0078	26.2329	.0000	-.1458	.9607	作業環境	-.6954	.2637	6.9520	.0084	-.0659	.4989				
障害程度	-.4750	.1508	9.9262	.0016	-.0834	.6219	知的要件	.5697	.2960	3.7038	.0543	.0387	1.7678				
<b>作業中に眠い</b> (R <sup>2</sup> = 0.715)						<b>だるさが続く</b> (R <sup>2</sup> = 0.757)											
仕事強度	-.6011	.1516	15.7190	.0001	-.1097	.5482	仕事強度	-.6348	.1094	33.6494	.0000	-.1667	.5300				
年齢	-.0190	.0089	4.5348	.0332	-.0472	.9811	作業形態	-.4649	.1380	11.3576	.0008	-.0906	.6282				
<b>作業の始めから疲れている</b> (R <sup>2</sup> = 0.944)						<b>注意力・集中力が低下した</b> (R <sup>2</sup> = 0.499)											
年齢	-.0600	.0165	13.2300	.0003	-.0993	.9418	作業環境	-.4921	.1039	22.4224	.0000	-.1339	.6114				
作業形態	-.10605	.4055	6.8394	.0089	-.0652	.3463	障害程度	-.3316	.0833	15.8636	.0001	-.1103	.7178				
<b>休養が不足している</b> (R <sup>2</sup> = 0.843)						<b>作業に間違いが多くなった</b> (R <sup>2</sup> = 0.677)											
年齢	-.0528	.0094	31.4243	.0000	-.1607	.9486	作業環境	-.4295	.1348	10.1511	.0014	-.0846	.6509				
作業形態	-.4645	.1972	5.5515	.0185	-.0558	.6284	作業形態	-.3592	.1139	9.9515	.0016	-.0835	.6982				
<b>いつもイライラしている</b> (R <sup>2</sup> = 0.789)						障害程度						-.3282	.1153	8.1089	.0044	-.0732	.7202
年齢	-.0478	.0081	34.6460	.0000	-.1693	.9534	<b>作業の速度についていけない</b> (R <sup>2</sup> = 0.694)										
障害程度	-.3366	.1492	5.0926	.0240	-.0521	.7142	知的要件	-.1.2346	.2518	24.0417	.0000	-.1391	.2910				
<b>作業中に息切れする</b> (R <sup>2</sup> = 0.911)						作業形態						-.4385	.1384	10.0462	.0015	-.0840	.6450
性別	-.1.1097	.4796	5.3543	.0207	-.0543	.3297	<b>仕事への意欲が弱くなった</b> (R <sup>2</sup> = 0.720)										
障害程度	-.5082	.2488	4.1714	.0411	-.0437	.6016	知的要件	-.1.1741	.2846	17.0147	.0000	-.1148	.3091				
年齢	-.0286	.0167	2.9299	.0870	-.0286	.9718	障害程度	-.4884	.1461	11.1731	.0008	-.0897	.6136				
<b>眠れない、眠りが浅い</b> (R <sup>2</sup> = 0.837)						<b>無気力である</b> (R <sup>2</sup> = 0.891)											
仕事強度	-.9151	.2248	16.5718	.0000	-.1131	.4005	仕事強度	-.8185	.1798	20.7196	.0000	-.1282	.4411				
年齢	-.0421	.0125	11.3418	.0008	-.0905	.9588	性別	-.1.0565	.3277	10.3955	.0013	-.0858	.3477				
作業環境	.5561	.2008	7.6721	.0056	.0706	1.7439	<b>欠勤が多くなった</b> (R <sup>2</sup> = 0.881)										
<b>胃腸の調子が悪い</b> (R <sup>2</sup> = 0.735)						知的要件						-.1.8116	.5392	11.2887	.0008	-.0903	.1634
年齢	-.0585	.0032	339.9417	.0000	-.5446	.9432	性別	-.1.0565	.4434	5.6780	.0172	-.0568	.3477				
<b>以下の 2 つは、不的確モデル (R<sup>2</sup> &lt; 0.4)</b>						<b>肩がこる</b> (R <sup>2</sup> = 0.213)											
<b>足、腰等が疲れる</b> (R <sup>2</sup> = 0.126)						仕事強度						-.2771	.0688	16.2327	.0001	-.1118	.7580
障害程度	-.2874	.0330	75.9870	.0000	-.2548	.7502	作業形態	-.2501	.0883	8.0234	.0046	-.0727	.7787				
						性別						.2725	.1212	5.0551	.0246	.0518	1.3132